

加西ふるさとミーティング 2019 秋

校区名	開催日	開催場所
宇仁	令和元年 11 月 18 日 (月)	八王子会館

	質問・要望等	回答者	回 答
1	加西病院が令和 2 年 2 月から分娩を休止することのことだが、近隣市でも分娩のできない病院もあり、人口の回復は厳しい。これは国に要望することかもしれないが、安心してお産ができるようにしてほしい。	病院事務局	5 万人都市にする基盤整備として、産科があればシンボルとして、「ここで生む、人が増える」というのは良く分かる。が、共働きの核家族世帯が増える中では、市外からここに住んでも安心だということをアピールするのに、「病児をすぐに診察してもらえる」という安心感を与える点で、むしろ産科よりも小児科の充実が大切と考えます。
2	新規居住者住宅区域の設定は宇仁地区だけか。この制度を利用して地区内に家が建っているが、ふるさと創造会議が 10 地区に広がっている中で、なぜ他の地区は区域の設定をしないのか。	都市整備部	地縁者住宅区域は市内 104 箇所指定されているが、新規居住者住宅区域は宇仁地区だけです。他地区では、見ず知らずの方が住むことに抵抗があるなどで、受け入れられていないと思われます。宇仁地区では、地域の中で話し合い、新規居住者の受入れが行われています。
3	事前要望の 4 については、国の方針として産科を集約するという事は分かるが、市として危険分娩などに対応するため、市内であれば何分以内に病院に行けるか等の設定はしているのか。	病院事務局	異常分娩対応を含めた救急は、救急車で運んで 30 分以内（に到着）というのが圏域の範囲です。一方、正常分娩を含む異常時対応をしっかりできる大きな病院で一括して扱うというのが、国・県の基本的な考え方です。

4	加西市もその方向で進めているのか。	病院事務局	県の指導もありますので、北播磨、東播磨の中でそれぞれの病院がどのような機能を担い、相互補完していくかは今後の話となります。
5	産院のあるなしが5万人都市再生の条件とは言わないが、市内に住んでいれば安心して出産ができることは大事である。そのあたり、しっかりと考えてもらいたい。(要望)		
6	ふるさと創造条例の改正について、改正理由の中で地域課題の解決には関係市民の協力が必要であるとしているが、そもそも問題点と対策のつながりの間に原因が書かれていない。何が原因か、はっきりさせてもらいたい。	ふるさと創造部	関係市民という新たなものを組込むかのように思われるかも知れませんが、現に宇仁地区においては、都市間連携もされており、すでに取り入れられています。地域づくり・まちづくりといった分野において、このような取組を全市的に広めたいと考えています。そのための条例です。課題解決や、その問題点と対策という部分は、それぞれの分野で担っていくべき施策を設け、解決に努めていきます。この条例については、その部分でない、まちづくり・地域づくりの条例と理解していただきたいと考えています。
7	来年度は、ある活動に対して、問題点、原因、対策、結果などをまとめた資料を出してほしい。	ふるさと創造部	可能な限り、お示ししたいと考えています。
8	地域主体型交通について、我々が提案している運行方法がすんなり通るとは思わないが、国や県からの方向性を聞かせてもらいたい。 我々の意見も取り入れ実現してもらいたい。	ふるさと創造部	直接的な認可機関である国の兵庫陸運部と詰めた上で、公共交通活性化協議会にかけることになります。滝野方面への乗入れ、コミバス国正線（既存民間路線）との重複、白ナンバーで走ることになる認可形式等について、協議を進めていきますが、基本的には地元の意向を叶えるように進めたいと考えています。 具体的なことは、次の会議で説明したいと考えています。
9	通学路である市道下滝野市川線（馬渡谷～山田）の安全対策等についての要望		